

## クラッチ 取付時の注意点 トラブル原因と処置について

平成23年2月

クラッチのトラブルとして、主に切れ不良、ジャダーの発生が挙げられます。

その場合、ディスク・カバーの交換や、フライホイールの研磨・交換が必要となる場合があります。装着時や使用方法、レリーズ機構の不具合に起因するケースがありますので、下記の内容にご注意頂き、取付、ご使用ください。

主な原因	製品への現象	処置
高回転時のシフトミス	フェーシング部破損	
	ネック部破損	
多量なグリスの塗布	フェーシング面へのオイル付着	適正量のグリス塗布 先にディスクを仮組みし、はみ出たグリスは拭取る
適正でないグリスの使用により 温度上昇時に粘度が下がり、飛散	フェーシング面へのオイル付着	耐熱専用グリスの使用 プレッシャープレートの油分洗浄
取扱い時のフェーシング面への グリス付着	フェーシング面へのオイル付着	フェーシング面に油分を付着させないように組付け
取扱い時の落下	フェーシング部割れ 一部盛り上がり	取付時にはフェーシング部に異常が無いか確認
取付時の芯ズレ	フェーシング部破損	専用工具を使用して芯出しを行い、ミッションは専用ジャッキを使用して水平に挿入して下さい。その際無理にこじって挿入しないでください。また、ベルハウジング取付面に異常が無いか確認を行って下さい。
	ネック部破損	
	ダンパースプリングの破損	
	フェーシング部の反り	
ミッションもしくはエンジンの オイル漏れ	フェーシング面へのオイル付着	オイルシール交換 プレッシャープレートの油分洗浄
ミッションもしくはエンジン側軸受け 部の磨耗劣化による芯ズレ	ネック部破損	軸受け部品の交換(パイロットベアリング等)
半クラッチ多用による高熱の発生	フェーシング部の反り	半クラッチの原因を確認し、必要に応じて修正
	フライホイールの熱歪み	
	フェーシング部破損	
	ダンパースプリングの破損	
	フェーシング当たり面の片減り	

※半クラッチとなる原因としては、ドライバーの操作によるもの以外に、

レリーズ系の作動不良、ペダル足乗せ、過積載等があります。

※レリーズ系の作動不良の原因としては、下記が挙げられます。

レリーズフォークの遊び

クラッチペダルの遊び

レリーズフォークレバーの磨耗

レリーズシリンダーの不良、フルード漏れ

油圧経路内へのエア混入